

タカハシキカイ

工作機械の OEM拡充

生産能力・
専任者2倍
売上比率15%目指す

【新潟】タカハシキカイ(新潟県小千谷市、高橋徹社長、02558・882・4315)は、工作機械のOEM(相手先ブランド)事業を拡充する。主力の生産拠点に位置付ける長岡工場(新潟県長岡市)で、生産能力と専任の従業員を倍増させる。数年後をめどにOEM事業の売上比率を現在の10%から15%へ引き上げる。

タカハシキカイは、旋盤などの製造・販売 CNC(コンピュータ)を手がけている。現
| 数値制御)小型精密)在、工作機械事業の売
| 機械業界は景気や為替



OEM事業の強化によって生産設備全体の稼働率向上を目指す(小千谷工場)

の変動の影響を受けやすく、自社製品の生産だけでは設備の稼働率に波が生じるのが難点だった。

OEM事業は、1年半前から本格的に始めた。自社製品の生産で培った技術やノウハウを活用し、他社の工作機械の組み立てや加工を手がけている。

需要の増加を踏まえ

て、2018年度から1年程度をかけて主力の拠点である長岡工場の生産能力を順次増強する。約1億円を投じてレイアウトの変更や付帯設備の入れ替えなどを行い、生産能力を倍増させる。専任の従業員も現在の8人から15人程度に増やす。

同社のOEM事業の取引先は現在2社。生産や人員の増強によって「近い将来、取引先を3〜4社に増やす」(高橋社長)。同事業の売り上げ拡大を通じて全体の収益安定化につなげる。